

2005 年度 小委員会活動成果報告

(2006 年 2 月 9 日作成)

小委員会名	農村エコシステム小委員会		主 査 名：沼野夏生 就任年月：2002 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	農村計画委員会		委員長名：伊藤庸一
設 置 期 間	2002 年 4 月 ~ 2006 年 3 月		
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<ul style="list-style-type: none"> ・人間活動によって支えられる農村エコシステムの全体像の解明 ・特に集落域におけるエコシステムの全体像の解明 ・農村エコシステムを持続的に維持するための計画論の確立等 上記のことを明らかにするために、広く公開研究会や現地研究会を開催する。		
委員構成 (委員名(所属))	委員公募の有無：なし(2003 年に 2 名公募した) 伊藤春樹(聚文化研究所) 糸長浩司(日本大学) 井原満明(地域計画研究所) 浦上健司(インテージ) 大野啓一(横浜国立大学) 加藤仁美(九州大学) 川嶋雅章(明治大学) 栗田和弥(東京農業大学) 斎木崇人(神戸芸術工科大学) 瀬沼頼子(昭和女子大学) 中村攻(千葉大学) 沼野夏生(東北工業大学) 橋本忠美(農村・都市計画研究所) 藤沢直樹(日本大学) 守 隆(リバーサイドコーポレーション)		
設置 WG (WG 名：目的)	なし		
2005 年度予算	130,000 円	ホームページ公開の有無：なし 委員会 HP アドレス： http://news-sv.ajj.or.jp/nouson/s0/	

項 目	自己評価
委員会開催数	1 回(年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー・研究会・見学会等)	
大会研究集会	
対外的意見表明・パブリックコメント等	
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 現地研究会を予定していたが、できなかった。 2. 研究の到達点と課題を明らかにするための公開討論会も実現できなかった。 3. 委員の論文集は、当初予定より遅れたが、刊行することができた。
委員会活動の問題点・課題	1. 最後まで実働委員が極めて限られ、マンパワーが発揮できなかった。 2. 背景として、共通課題の詰め不足、研究資金、委員の地理的配置がある。 3. 成果の整理と共有化が残された課題といえる。